肝臓ミトコンドリア障害マーカーOCT（ラット/マウス）測定キット

ラット/マウスOCTアッセイキット

（研究用試薬）

Ornithine Carbamyltransferase（OCT）は尿素回路で作用する酵素で、哺乳類では肝臓ミトコンドリアに局在します。
高感度にOCTを定量できる本製品は、培養細胞やモデル動物での検討に活用できます。

★96穴マイクロプレートによるELISA法ですので、一度に大量の試料を測定できます。

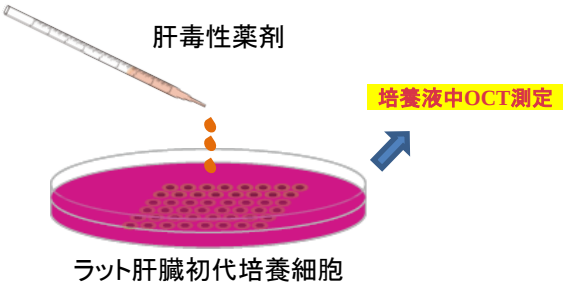
★ラットOCTを30～300 ng/mLの範囲で測定可能です。

★測定時間は一次反応1時間、二次反応1時間、発色反応30分です。

★ラットおよびマウスOCTの定量が可能です。

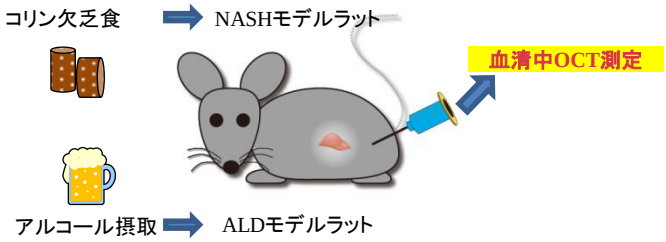
培養細胞

肝毒性薬剤を添加したラット肝臓初代培養細胞の培養液中OCTは、細胞質由来のAlanine aminotransferase（ALT）に比べ、より低い添加量で上昇することが報告されています[1)]。



モデル動物

非アルコール性脂肪肝炎（NASH）およびアルコール性肝障害（ALD）モデルラットで血清OCTは高値を示します[2)]。



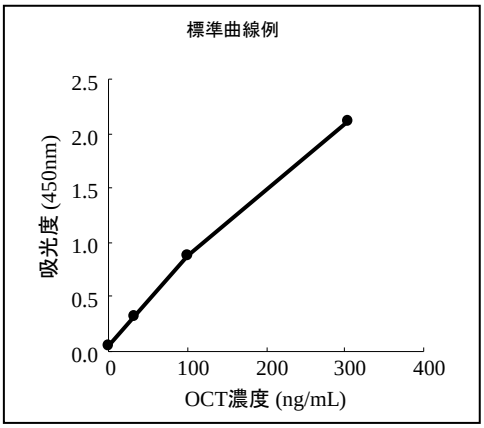
【 製 品 概 要 】

製品コード	製品名	容量	希望小売価格
80127	ラット/マウスOCTアッセイキット	96テスト	143,000円

•本製品は研究用試薬です。研究以外の目的には使用できません。
•ラットおよびマウスOCTを定量できます。
•キットに用いている抗体は、ヒトOCTにも反応するため、ヒト試料での詳細な検討は行っておりません。
•標準液はラットOCTです。マウスOCTはラットOCT相当量として算出されます。

＜構成試薬内容＞

試薬名	数量	容量
1. 抗体固相プレート	1	（96ウェル）
2. OCT標準液1（0 ng/mL）	1	（0.05 mL）
3. OCT標準液2（30 ng/mL）	1	（0.05 mL）
4. OCT標準液3（100 ng/mL）	1	（0.05 mL）
5. OCT標準液4（300 ng/mL）	1	（0.05 mL）
6. 希釈液	1	（50 mL）
7. 洗浄原液（10倍濃縮液）	1	（50 mL）
8. 酵素標識抗体	1	（0.15 mL）
9. 発色液A	1	（6 mL）
10. 発色液B	1	（6 mL）
11. 反応停止液	1	（11 mL）



参考文献
1. Furihata T et al.(2016) Drug Metab Pharmacokinet. 31. 102-5.
2. 村山 寛他 (2009) 第36回日本トキシコロジー学会

ヤマサ醤油株式会社